

平成 28 年度 生麦地区センター事業計画書

1 NPO 法人鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立した NPO 法人であり、地域に密着した事業活動として、「地域の人達による地域活動」の支援や「地域の特性に合った事業」「地域と連携した事業」を推進していく団体です。これまでの事業運営をさらに発展させ、地域と一体となった活動をこれからも進めていきます。

①地域密着型の組織運営

地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行っていきます。

②地域のネットワーク力を活かした事業展開と交流促進

- ・自治会・町内会、区老人クラブ、婦人会など地域を支える団体と連携を強化し、魅力ある事業展開を行っていきます。
- ・ケアプラザ、障害者施設などの近隣施設や小・中学校とも協力することで、幅広い要望に応えることのできる運営を行っていきます。
- ・地域で活動している人材を活用した事業展開を推進するため人材バンクを構築していきます。

③地区センターに地域コーディネーター職員の配置

- ・各地区センターに地域コーディネーター職員を配置し、高水準の施設運営が行える組織体系とします。
- ・コーディネーターが自治会、ケアプラザ、関係団体との連携や調整役などを果たすことで施設運営の充実・円滑化を進めていきます。

④エリア別運営管理を目指した組織づくり

- ・海（潮田）・山（寺尾）・川（矢向・末吉）・東海道（生麦）の 4 エリアに分割管理することで、地区センター、コミュニティハウス、子どもログハウスを一体とした事業展開を実施していきます。
- ・エリア内やエリア間の交流を活発化させることで情報の共有化、自主事業の共同企画化を図り、施設運営の水準を高めた事業を展開していきます。

⑤魅力ある自主事業の推進

- ・幼児から高齢者までが参加できる自主事業を実施するために、各施設で実施している事業を総括管理し、事業の種類や経費など施設間で一定水準を維持できる体制を確保していきます。
- ・自主事業の魅力を広めるために、自治会・町内会館などを利用した出前講座を実施していきます。
- ・人気の高い事業は、複数の施設で実施できるように情報共有化を進めていきます。

⑥新刊書・絵本の積極的購入による魅力ある図書貸出し事業の推進

- ・「地域の貸本屋」をモットーに評判の新刊書を多数取りそろえると共に、子育て世代に魅力を感じてもらえる絵本を充実していきます。

⑦モニター制度の導入

- ・これまで施設や街頭などでアンケートを実施してきましたが、さらなる充実を目指してモニター制度を導入していきます。
- ・モニターの皆さまに意見や要望を聞き、課題などを抽出することで施設運営の改善などにつなげていきます。

⑧自己評価制度の採用

- ・実施計画の達成度合いを確認するために年度末に自己評価を行います。評価結果は次年度の事業に反映していきます。

- ・当該施設の自治会が自己評価を確認することで、地域と一体となった施設運営が可能となります。

2 生麦地区センター管理運営の基本方針

生麦地区センターは、主に生麦地区の住民が自主的に活動し相互交流を深める場として利用する施設であり、鶴見区の区政運営方針である「安心」「ぬくもり」「活力」のあるまちづくり対策の実践の場として活用する施設です。

生麦第一・第二地区はJR、京浜急行、第一・第二京浜道路で分断されているが、両地域のコミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点として重要な施設であり、地域活動、多文化共生、福祉活動の拠点として地域の方に愛され、親しまれる施設であるという認識のもと管理運営を行っていきます。

3 運営体制

(1) 人員体制

館長、副館長、主任2名、スタッフは交代制で12名、地域コーディネーター1名の計17名で施設運営を行います。

常勤職員1名以上とスタッフ2名が常時勤務する体制をとります。

(2) 個人情報保護及び研修体制

「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するための職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止などの指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加していきます。

(3) 緊急時の体制と対応計画

- ①鶴見区と締結した災害時の施設利用についての協定に基づき対応します。
- ②緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。
- ③生麦地域ケアプラザと合同で防災訓練、AED使用訓練を実施します。
- ④自動販売機は防災ベンダー対応機を設置するとともに、防災備蓄庫を設置します。
- ⑤地元防災拠点の運営委員（地元町会長、学校長）が本施設の運営協議会委員であるので、非常時には臨機に対応可能な体制を確保しています。
- ⑥危機管理マニュアルに即し職員指導を行っていきます。
- ⑦不審者対策は、防犯システムの設置、小・中学校との情報交換・連絡を密にすることで対応していきます。

4 施設の運営計画

(1) 運営内容

地域自治会・協力団体・地域住民が自主的に活動し、相互の交流を深める場としての施設利用の促進に努めます。

①生麦・生麦第二地区の自治活動の利用促進

- ・地域コーディネーターによる調整や利用促進を図ります。
- ・鶴見・あいねっとの集い、婦人部老人会昼食会、元気づくり事業、蛇も蚊もまつり、桜まつりなどの各種事業の支援を行なっていきます。

②生麦地域ケアプラザ、ふれあいの家と連携した事業展開

- ・秋祭り、防災訓練などを共同開催します。
- ・野外広場の活用（花・野菜の販売、ペタンク・ゲートボール活動）を図ります。

（２）利用促進策

28年度利用者数 11.5万人を目標に利用者の増加を図ります。

①施設利用促進策

- ・自主事業後のサークル化促進などで新規利用団体の誘致を図ります。
- ・自主事業数を 50 講座以上確保し参加者を増やしていきます。
- ・サークル支援事業としてサークルを活発化させ利用者を増やします。
- ・施設で行う自主事業の宣伝かねて自治会館への出前講座を実施していきます。
- ・地域コーディネーターが中心となり広報活動を広げることで利用者を増やします。
- ・生麦地域ケアプラザと施設利用方法を調整し健常者の利用を増やします。
- ・体育館の団体利用枠を 50%から 60%に上げることで利用促進を図ります。

②図書利用促進策

新刊書や絵本を充実させることで貸出し冊数を 1,000 冊増加させていきます。

（３）利用者ニーズの把握と取組み

①利用者ニーズの把握

- ・利用者との交流、利用者アンケートなどを通じて利用者ニーズを把握します。
- ・利用者会議を開催し意見や要望を把握していきます。
- ・運営協議会で意見をいただき施設運営に反映していきます。
- ・モニター会議を通じ地域ニーズを把握します。

②利用者サービスの向上

- ・団体利用申込方法の負担を軽減する対策を実施します。
- ・自治会、老人会、婦人部会など地域団体が利用しやすい環境を整備します。
- ・新刊図書コーナーを設置し図書を借りやすくします。
- ・参加費を低く抑えた自主事業の開催を増やしていきます。

（４）横浜市重要施策に対する取組み

①図書活動推進事業

新刊書、絵本を積極的に購入し魅力ある図書事業を推進していきます。

②シニアが活躍するまち(健康づくり・介護予防)

つるみ元気づくり支援として健康体操、ペタンク、グランドゴルフなどを実施します。

③子育て支援の場や機会の充実

子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを進めます。

おはなし会、親子サロン、紙芝居、子どもミュージカル、七夕飾りコンサートを実施します。

④子ども・青少年の健全育成に向けた地域連携の推進

子どもの身近な居場所づくりに施設利用や地域連携を進めます。

子どもの遊び場、生麦こどもフェスなどを支援します。

⑤参加と協働による地域自治の支援

地域活動の拠点として生麦地域ケアプラザ、鶴見中央コミュニティハウスと連携し、地域の課題・情報の共有化を図ることで地域活動団体を支援していきます。

⑥文化芸術活動の支援

蛇も蛾もまつり写真展、桜まつり、鶴見川環境・防災・歴史の魅力などの事業を実施します。

5 自主事業計画

(1) 自主事業の充実に向けた対策

- ・人気の高い講座は継続すると共に、地域の特性を考慮した新企画の講座を増やしていきます。
- ・地域コーディネーターが企画した地区センター共通の自主事業を実施していきます。
- ・施設共通の課題や人気度の高い講座など本協会企画の自主事業を実施していきます。

(2) 自主事業の基本的な分類

①高齢者交流事業

高齢者を対象に楽しく交流できる講座を実施していきます。

②子育て支援事業

未就園児の親子を対象に子育てが楽しくなる講座を企画していきます。

③サークル支援事業

登録団体がサークルの活性化を図れるような講座を企画していきます。

④外部依頼事業

専門的技術を要する講座は外部講師に依頼し、幅広いニーズに対応できる講座を企画します。

⑤他団体共催事業

ケアプラザ、地域作業所、自治会婦人部をはじめ関係団体と共同で事業企画を進めます。

6 施設の維持管理計画

安全・快適な環境維持及び長寿命化の観点から施設の維持管理に努めます。

①建築物保守・設備機器・環境衛生管理

- ・専門業者に委託し法令に基づく定期点検、年次点検を実施します。
- ・職員が「点検表」に基づき日常点検を実施し早期発見・早期対応に努めます。

②清掃業務

- ・専門業者に委託し、日常清掃、定期清掃を実施します。
- ・職員が開館前、閉館前に日常清掃を、開館時間内は汚れた時に随時清掃を行います。

③保安警備

- ・開館時間内は職員が巡回警備を行います。
- ・防犯カメラによる監視や警備会社に夜間、休日の警備を委託します。

④廃棄物処理

- ・利用者にごみの持ち帰りをお願いすることで、施設から発生する廃棄物を減らしていきます。
- ・横浜市ごみゼロルート回収にて廃棄物を処理します。

⑤修繕

- ・修繕費を平準化するために、修繕計画を作成し修繕を実施します。
- ・突発的に発生する修繕は、地域業者に依頼することで迅速に対応します。

⑥外構、植栽管理

- ・専門業者に委託し、外構清掃、害虫駆除、樹木剪定を実施します。
- ・雑草除去は、日常清掃業者または職員が実施します。

横浜市生麦地区センター自主事業計画書

団体名 鶴見区民地域活動協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
きらめく星空プラネタリウム (地域共催) 1回	幼児～成人	55000	7000	48000	50000	0	5000
	120名						
	400円						
子どもも楽しむミュージカル (地域共催) 1回	幼児～成人	10000	5000	5000	8909	0	1091
	50名						
	100円						
生麦歌声ひろば (地域共催) 2回	成人	16000	6000	10000	8909	7091	0
	50名						
	100円						
七夕飾りとコンサート (地域共催) 1回	幼児～成人	15000	10000	5000	10023	3000	1977
	50名						
	100円						
クリスマスのお楽しみ会 (地域共催) 1回	幼児～成人	14136	14136	0	11136	3000	0
	無料						
子育て支援 地区センデビュー (地域共催) 1回	幼児と保護者	7700	6500	1200	6125	0	1575
	12組						
	100円						
紙芝居を楽しもう 1回	幼児～成人	8568	5568	3000	5568	3000	0
	30名						
	100円						
音楽のタベ(ドリンク付) 2回	幼児～成人	23000	11000	12000	17818	0	5182
	30名						
	200円						
国際交流/ブラジル料理に挑戦 1回	成人	27000	10200	16800	8909	16800	1291
	24名						
	700円						
プロに習う～魚の扱い方～ (地域共催) 1回	成人	19000	7000	12000	5568	12000	1432
	24名						
	500円						
そば打ち体験 1回	成人	19500	7500	12000	6125	12000	1375
	24名						
	500円						
わが家の手作り味噌 1回	成人	47800	7000	40800	5568	40800	1432
	24名						
	1700円						
日本の伝統行事を楽しむ パート1 端午の節句(ちまきづくり) 1回	小学生と保護者	19600	10000	9600	8909	9600	1091
	12組						
	800円						

日本の伝統行事を楽しむ パート2 お彼岸(おはぎづくり) 1回	小学生と保護者	19600	10000	9600	8909	9600	1091
	12組						
	800円						
日本の伝統行事を楽しむ パート3 桃の節句(ちらしづくり) 1回	小学生と保護者	19600	10000	9600	8909	9600	1091
	12組						
	800円						
鶴見川河口干潟の 生き物観察 共催	小中学生	6000	0	6000	0	6000	0
	20名						
	300円						
夏休み わたしは陶芸家 (地域共催) 2回	小学生	38000	13000	25000	12250	25000	750
	25名						
	1000円						
夏休み 小さな大工さん 木で何を作る? 1回	小学生	25000	10000	15000	8909	15000	1091
	25名						
	600円						
夏休み 科学の不思議 1回	小学生	8000	6000	2000	5568	2000	432
	20名						
	100円						
レジンでオンリーワンのペンダント 1回	成人	31125	6125	25000	6125	25000	0
	25名						
	1000円						
子どものための抱き人形 4回	成人	43364	13364	30000	13364	30000	0
	15名						
	2000円						
緑を楽しむ季節の寄せ植え 1回	成人	45568	5568	40000	5568	40000	0
	20名						
	2000円						
生麦 菊づくり講座 6回	成人	39408	19408	20000	33408	6000	0
	20名						
	1000円						
生麦の歴史講座 4回	成人	29500	9500	20000	24500	5000	0
	25名						
	800円						
オリンピックで交流～簡単英会話～ 6回	成人	41750	21750	20000	36750	5000	0
	20名						
	1000円						
生麦おはなし会 10回	幼児と保護者	58680	58680	0	55680	3000	0
	無料						
パソコン相談 24回	成人	26726	26726	0	26726	0	0
	無料						
ピラティス体験 4回	成人	30000	14000	16000	24500	0	5500
	20名						
	800円						

おらほのラジオ体操と ウォーキングの基本を学ぶ	成人						
	20名						
	5回 700円	36000	22000	14000	30625	0	5375
ペタンク・グランドゴルフ	中高年						
	入門						
	20名 3回 500円	18000	8000	10000	16704	0	1296
サークル支援事業(成人) 文化系	成人						
	15人						
		0	0	0	0	0	0
サークル支援事業(成人) 運動系	成人						
	15人						
		0	0	0	0	0	0
ジャズ・ヒップホップダンス	小学生～成人						
	20名						
	5回 1000円	33000	13000	20000	27840	0	5160
フットサル体験 (地域共催)	小学生～						
	30名						
	4回 無料	20000	20000	0	13364	0	6636
フットサル大会 (地域共催)	小学生～						
	1回 無料	6839	6839	0	0	0	6839
こどものあそびば (地域共催)	小学生						
	20名						
	12回 無料	15000	15000	0	0	0	15000
チャリティーダンスパーティー	成人						
	2回 協力金(寄付)	5000	5000	0	0	0	5000
折り紙サロン	小学生～成人						
	20名						
	2回 各500円	31136	11136	20000	11136	20000	0
にじみ絵で遊ぼう	小学生～成人						
	20名						
	1回 各300円	6000	0	6000	0	6000	0
地区センで簡単手作り&カフェ	成人						
	20名						
	3回 各300円	18000	0	18000	0	12000	6000
環境に配慮 ホウ酸団子づくり	成人						
	20名						
	1回 200円	4000	0	4000	0	4000	0
災害に強い地域/救命救急講座 共催	成人						
	1回 無料	0	0	0	0	0	0
防災バスツアー 共催	成人						
	40人						
	1回 無料	0	0	0	0	0	0

税理士の出前講座 共催	成人						
	20人						
	無料	0	0	0	0	0	0
ポッチャ大会 共催 1回	成人						
	30人						
	無料	0	0	0	0	0	0
笑顔と元気/認知症予防講座 共催 1回	成人						
	無料	0	0	0	0	0	0
中高年の終活～身辺整理術～ 共催 1回	成人						
	無料	0	0	0	0	0	0
合 計		937600	432000	505600	524402	330491	82707

・事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

・金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。消費税率は8%を適用してください。

平成28年度生麦地区センターの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①+②=A	33,706
項 目	①指定管理費		29,400
	②利用料金収入等	自主事業参加費、自販機収入 コピー・印刷機収入等を含む	4,306
支出合計(B)			33,706
項 目	人件費	常勤給与、スタッフ賃金、法定福利費ほか	19,130
	事務費	消耗品費、備品購入費、旅費、会議賄費 通信費、振込手数料ほか	2,036
	事業費	自主事業、 発表・作品展(含む地域ニーズ対応費)	1,928
	管理費	光熱水費、修繕費、清掃費、機械警備費 自動ドア保守点検、昇降機保守点検 消防設備保守点検ほか	9,170
	公租公課	消費税、法人税等	754
	事務経費	労務、経理、契約、職員研修ほか	688
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

平成28年度生麦地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新旧住民の交流事業(自治会支援) ○子育て交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会 ・読み聞かせ ○子育て支援グループの施設利用支援 ○活動支援、サークル誘致 ○高齢者交流事業(高齢者居場所づくり) <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者会食会 ・健康体操事業 ○図書貸出し推進事業(図書館機能の充実) <ul style="list-style-type: none"> 新刊書(200冊購入) ○鶴見の魅力アップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鶴見川環境(生麦干潟活動支援)(1回) ・防災(1回) ・歴史体験事業(1回) ・生麦第二地区の住民の生麦地区センターの利用支援 生麦第二連合会長会での事業案内(12回) 			
	<p>(2)ウ 公の施設としての管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎団体利用の申込みの円滑化 ○2か月前一括申し込み、抽選、通知 <ul style="list-style-type: none"> 現在、会議室取得の複雑であるとのご意見から、運営協議会、利用者委員会での意見聴取し申し込み方法の改善 ○自治会等の地域活動利用を促進 			

	<p>自治会、老人会、地域活動団体活動等への支援、優先利用</p> <p>○地域の多様な人材の発掘・活用・地域コーディネーター コーディネーターの人選</p> <p>○高齢者健康推進団体利用の推進 生麦地区センター、ケアプラザ、鶴見中中央ケアプラザ の連携</p> <p>○地区センターの楽しさを地域にひろめる ・生麦第一・第二連合会へのチラシポスター依頼と 広報活動（24回）</p> <p>○プレイルームに絵本コーナーを設置 絵本にふれあう機会を設置</p> <p>○利用者とのコミュニケーションを大切にする接遇 ・さわやか挨拶・親切な対応 ・目で見える自主事業のお知らせ ・実際に作る作品を展示 ・わかりやすいチラシの掲示</p>			
	<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>◎利用者ニーズ把握</p> <p>○利用者とのコミュニケーション 利用者や自主事業参加者との交流を通し情報収集を図る。</p> <p>○利用者会議・現在の課題を提案し意見を集約 要望を運営に反映（1）</p> <p>○利用者アンケート実施（1）・ご意見箱を設置（ 利用者アンケート・利用者要望を通して施設運営の改善、新 規事業等の資料に反映</p> <p>◎地域ニーズの把握</p> <p>○地元地区連合会への説明、意見交換、アンケートの実施（H 26）H28</p> <p>○街頭アンケート臨海フェスティバルにてアンケート実施利 用実態等を把握し課題を抽出（H26）H28</p>			

	<p>○モニター会議・・生麦第一、第二地区婦人部会モニター会議での意見聴取（H27）H28</p> <p>◎入館者集計(毎月)、統計処理(年度末)</p> <p>◎運営への反映</p> <p>○運営協議会開催(1回)</p> <p>○施設要望・苦情の把握(常時)</p> <p>○自主事業の精査・検討</p> <p>・参加者数、利用者要望から判断</p> <p>○図書購入</p> <p>・購入希望の多い図書の把握・購入</p>			
	<p>(4) オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>○サークル支援事業の充実</p> <p>○図書購入200冊</p> <p>○新刊図書コーナー</p> <p>○自主事業・事業回数増加（50講座）</p> <p>○参加費用をやすく抑える</p> <p>○利用サークル団体主催による事業展開</p>			
業務運営	<p>事業計画書</p> <p>(3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>・館長1、副館長1、主任2、地域コーディネーター1、スタッフ12とする</p>			
	<p>(3) ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>ア横浜市防災計画、鶴見区防災計画に基づく対応</p> <p>○緊急時館長連絡網（パソコン携帯同時配信）</p> <p>○FMラジオ、懐中電灯</p>			

<p>○自動販売機は災害ベンダー対応</p> <p>○防災備蓄庫を設置する（ミネラルウォーター168本）</p> <p>ウ地域との連携</p> <p>○生麦地域ケアプラザと合同防災訓練</p> <p>エ危機管理マニュアル</p> <p>○火災・台風・不審者・事故・盗難等に対応したマニュアル</p> <p>オ不審者対応</p> <p>○防犯システムを設置する。</p> <p>カ事故防止</p> <p>○気象警報発令時、災害の危険が予想される時</p> <p>○消防訓練・避難誘導訓練・AED使用方法訓練</p> <p>○火の元、水回り、電気停止戸締り確認の業務日誌チェック</p>			
<p>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</p> <p>◎生麦第一・第二地区の自治活動の利用を支援</p> <p>○地域コーディネーターによる調整、利用促進</p> <p>○鶴見・あいねっとの集い支援</p> <p>○婦人部老人会昼食会支援</p> <p>○生麦第一連合会会議○保険活動推進委員会健康講座</p> <p>○帰宅困難者対策の支援</p> <p>○元気づくり事業支援（生麦第二地区地域のつながり実行委員会、友愛活動居場所づくり、生麦活性化プロジェクト）の情報収集</p> <p>○蛇も蚊もまつり（地域住民の休憩施設として開放、写真展示）</p> <p>○桜まつり〈春まつりで連携を深める〉・○地域コーディネーターによる調整、利用促進</p> <p>○生麦文化伝承の発信拠点</p> <p>◎生麦地域ケアプラザ、ふれあいの家との連携</p> <p>○秋祭り共同開催 ○防災訓練（地域住民を招き訓練）</p> <p>○野外広場の活用（花・野菜の販売。ベタンク・ゲートボー</p>			

	<p>ル活用)</p>			
	<p>(4) イ利用促進策</p> <p>◎次期5か年で施設 利用促進策</p> <p>① 利用団体の誘致(自主事業後のサークル化促進)</p> <p>② 協会共通の自主事業を増やし年間事業数を増やす (年間事業50講座以上)</p> <p>③ 現サークル支援事業サークルを活性化させ会員数を増やす</p> <p>④ 自治会館への出前講座をして施設で行う自主事業を宣伝する。情報収集</p> <p>⑤ 地域コーディネーターの情報収集で新規利用者を増やす。</p> <p>⑥ 生麦地域ケアプラザとの使い分けで利用を増やす。</p> <p>⑦ 体育館の団体利用率を50%から60%に増やす。 現在の団体利用率の80%利用をめざす</p> <p>◎図書利用促進策 毎年、貸し出し冊数1000冊アップをめざす (図書の魅力アップ)</p> <p>① 新刊図書の充実(年間200冊購入)</p> <p>② 購入図書の選定方法の改善「全国の図書館人気図書情報から厳選購入」</p> <p>③ 購入図書の配信(自治会に回覧チラシ配布・ホームページ掲載・館内表示)</p> <p>④ 絵本コーナーの充実(年間50冊購入)</p>			
	<p>キ 本市重要施策に対する取組・介護予防)</p> <p>◎読書活動推進事業</p> <p>○200冊購入</p> <p>◎シニアが活躍するまち(健康づくり・介護予防))</p> <p>・つるみ元気づくり(健康体操・ペタンク・グランドゴルフ)</p> <p>◎地域における子育て支援の場や機会を充実</p> <p>・ママカフェは次年度以降</p>			

<ul style="list-style-type: none"> ・親子でものづくりふれあい交流・・お楽しみ会 ・本を読む習慣をつける⇒読み聞かせ 			
<p>◎子供・青少年の健全育成に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく遊び・学べる場の提供→子供のあそびば <p>◎学校と家庭と地域の連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区センターと学校が連携して子供たちの健全育成を支援 <p>◎参加と協働による地域自治の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴見・あいねっとのつどい ・保険活動推進委員会 ・消費生活推進員 ・保護司会 ・婦人部会等の支援 <p>◎市民の文化芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターまつり ・蛇も蚊もまつり写真展 ・桜まつり〈春まつりで地域連帯を深める〉 ・鶴見川の環境・防災・歴史の魅力体験 <p>◎事業者によるごみの減量化と分別徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜3R夢プランに沿った廃棄物分別と資源化 			
<p>(5) 自主事業計画</p> <p>◎生麦らしさを演出する次期5か年の自主事業計画（50講座）</p> <p>①高齢者交流事業</p> <p>②子育て支援事業</p> <p>③サークル支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動を維持・存続させ会員を増やす <p>① 外部講師に依頼する自主事業</p> <p>⑤他団体と共催事業を実施します。</p>			

	<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <p>◎建築物保守管理・設備機器管理・環境衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者点検 ⇒ 法令に基づく定期点検 (2~3 回/年) <p>年次点検、空調管理、施設保安管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員点検 ⇒ 「チェック表」に基づき点検(毎日) <p>◎清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者による清掃 ⇒ 日常清掃 (毎日) 定期清掃 (3 回/年) <p>②職員による清掃 ⇒ 開館前、閉館前に日常清掃(毎日) 開館時間内は汚れた時に清掃(随時)</p> <p>◎保安警備</p> <p>①警備会社による警備 ⇒ 夜間、休日の機械警備による監視</p> <p>②職員による警備 ⇒ 開館時間内の巡回監視 (毎日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ設置 ⇒ 施設内外の不審者を監視 <p>◎備品管理</p> <p>①備品台帳により適正に管理し、定期的に物品数・状況をチェック「必要時」</p> <p>②貸出物品⇒貸出前後に状態をチェックし貸出し (随時)</p> <p>◎廃棄物処理</p> <p>①横浜市ゴミゼロルート回収にて廃棄物処理</p> <p>②横浜 3 R 夢プランによる廃棄物の分別・資源化</p> <p>◎修繕</p> <p>①修繕計画を作成して修繕する事項→費用の平準化を図って対応</p> <p>②突発的に発生する修繕→地域業者に依頼し迅速に対応〈随時〉</p>		
--	--	--	--

	<p>◎外構植栽</p> <p>①専門業者による清掃→日常清掃による落ち葉・ゴミの除去（毎日）</p> <p>②専門業者による害虫駆除・樹木選定（3回/年）定期選定（随時）</p> <p>③植栽管理→日常業務として雑草除去・樹木の剪定（適時）</p> <p>① 外構点検・管理→職員による日常点検（毎日）補修対応（随時）</p>			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>・館長1、副館長1、主任2、地域コーディネーター1、スタッフ12とする</p>			
	<p>(3)イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>◎個人情報保護の体制</p> <p>①職員への周知</p> <p>・「個人情報取扱特記事項」を基に職員への研修（4月）</p> <p>・「個人情報保護に関する誓約書」で誓約し、個人情報遵守の責任を周知（4月）</p> <p>・ミーティングで個人情報管理の徹底を指導</p>			

<p>事業計画書</p> <p>(7)ア 収入計画の考え方</p> <p>収入が一定の指定管理料と前年の実績を考慮した利用料金、 その他収入から立案</p> <p>① 部屋の稼働率の上昇が利用料金収入に直結するので利用 団体の誘致に努める</p> <p>② 自主事業費の増加が収入増につながるので魅力的な事業 を協会全体で構築していく。</p> <p>③ 雑収入は自動販売機、印刷代がほとんどであるので、利 用しやすいサービスに努める。</p>			
<p>財務</p> <p>イ 増収策</p> <p>① 参加者に過度な負担をかけない範囲で謝金も参加費に含 める</p> <p>② 自主事業にかかる材料費は参加者負担とする。</p> <p>③ 自主事業数を50講座実施することで事業収入の増加を図 る</p> <p>④ 自治会等の資料印刷に協力することで印刷費増収を図 る。</p>			
<p>ウ 支出計画</p> <p>① 支出計画の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理規定に基づき効率的な予算執行 ・ 予算書に基づき支出を実行 ・ 予算を上回る修繕等が発生した場合、スケールメリットを 活かした当協会の資金で対応 ・ 自主事業費は参加者に過度にならない参加費を設定 ・ 設備・備品の充実が支出計画に支障をきたさない範囲で支 出 <p>② 支出の効率化</p> <p>① 職員は近隣地域からの採用で通勤手当の抑制する。</p> <p>② 管理費（光熱水費）</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスに支障のない範囲で節減に努める。 ③事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品は、品質・価格競争で優位な品物を購入 ・本協会のスケールメリットを生かし、協会での一括購入、不用品の施設間利用など経費の削減に努める ③ 事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者を確保できる事業効果の高い事業を導入 ◎次期5か年収支バランス <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は、H32年度までに単年で390万円を目標とする。 ・利用料金収入の累計増加は、5か年で合計320万円を目標とする。 			
	<p>(4)カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書200冊を含む 			
<p>その他 （上記 4つの 視点以 外の項 目があ れば追 記）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の視点に基づく目標を記載 			
<p>利用者 等の意 見</p>	<p>利用者等の意見の把握方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議、運営協議会、利用者アンケート、モニター会議 ご意見箱 主な意見、要望 	<p>意見、要望に対する対応</p>		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載